

## 評価方法・評価指標に関する指摘事項（計画全般）

### ①「数値目標」及び「評価指標」とその評価についての整理

### ②福祉保健基礎調査を評価指標とすることの妥当性

- 調査の実施方法（サンプル数、調査項目等）、原データの再分析は可能か。
- 次回が24年度であるが、その後、追加調査は可能か。

### ③区市町村調査の活用について

- 利用者満足度については、地域ごとの評価が盛り込まれてもよい。
- 区市町村調査を活用できないか。
- 都として本当に調査すべきこと、把握すべきことと、区市町村に任せる等の工夫も考えられる。

### ④「これから子供を産み育てようとする人たちが子供を持ちたいと思う社会であるかどうか」という観点も重要

### ⑤地域との協働の実状等も指標化していけるとよい。

＝事業手法の評価の視点

### ⑥後期計画には、「子供視点」からの評価軸を検討していくべきではないか。

## 評価方法・評価指標に関する指摘事項（目標別）

### 目標 1

- ・ 「地域における支援」の評価指標として、相談件数があがっているが、相談件数をどう読むかは難しい。都内の子育てひろばの利用者満足度等の定点観測（縦断観測、横断観測）ができないか。

### 目標 2

- ・ 学童クラブについて、全児童数に対する利用者割合を出さないと、単に利用者数だけでは実態が見えないのではないか。
- ・ 両立支援に関する助成金等を利用した企業における効果測定ができるとうい。
- ・ 男性の育児休業取得を目標値としてほしい。

### 目標 3

(特になし)

### 目標 4

- 虐待の予防
  - ・ 児童虐待については、端的に「虐待が減ったかどうか」ということが指標になるのではないか。
- 社会的養護
  - ・ 家庭的養護の目標数値を上げているが、量的な整備だけでない、質的なものを評価することが必要となってくる。
- ひとり親支援  
(特になし)
- 障害児支援
  - ・ 障害児施策として考えられる指標として以下のようなものが考えられるが把握は可能か。
    - ①障害児保育の受入人数の推移
    - ②児童デイサービス
    - ③巡回相談件数

### 目標 5

(特になし)